

## 4 学校における子ども読書活動の推進

### 子どもと保護者への取り組み

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
79	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	継続				18年度まで「子どもと本のつどい」を中心に、子どもたちが児童文学作家と直接話したり、ワークショップで絵本作家とふれあう機会を設けてきたが、19年度については未実施。20年度については子どもが参加できるワークショップの実施を予定。また中高生のボランティアが保育所などに出向いておはなし会を行う機会も増えた。さらに活動を継続し、大学進学後もさまざまな取り組みに参加してくれることもある。	市立図書館
	子どもの読書活動への取り組み	子どもが主体となって読書の豊かさ・楽しさを体験し、伝え合う催しを学校・関連機関・団体が連携して行う。	継続				本の帯作成や、図書委員会が中心となって、図書館まつりの実施を行った。	義務教育課
80	読書教育の推進	授業をはじめとした学校教育活動の中に読書を位置づけて取り組みを進める。	継続				「図書の時間」や「朝の読書」を設定し、教員と学校司書など学校図書館担当が協力して、読書の楽しさを知る学習をしたり、「総合的な学習の時間」などの授業の中で、学習内容や児童・生徒の興味関心に沿って、関連した本の紹介や読み聞かせなどにより、学習を深めている。また、地域ボランティアや保護者等の協力を得て、読み聞かせを行っている学校もある。小学校では、「自主企画事業」の取組みで学校図書館教育の推進を図る学校があった。また、中学校では、「中学校読書活動推進事業」を全校で実施し、読書活動の活性化を進めた。	小・中学校 義務教育課
81	読書教育の推進	読みたい本を自由に読む読書活動を教育活動の一環として位置づけ、子どもの主体的な読書につながるよう取り組みを行う。	継続				年度初めの図書の時間などにオリエンテーションを学校図書館で実施し、図書館の使い方の他、レファレンスサービスなどの図書館サービスを児童・生徒に伝えている。月曜から金曜まで毎日図書館を開館し、「図書の時間」や休み時間、そして放課後に貸出を行っている。また、リクエスト制度を取り入れ、児童・生徒が読みたい本を読めるようにしている。校内の本で足りない場合は週1回の物流便により市立図書館や市内他校の協力を得ている。	小・中学校 義務教育課
82	読書活動の推進	学校での読書会など、自分と友だちとの共感や感じ方の違いを体感し、本への興味が持てるよう機会をつくる。	継続				児童・生徒が、図書委員会としての活動として、本の紹介や読み聞かせなどを行ったり、授業の中で互いの感想を交流したりしている。	小・中学校

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
83	「おはなし指導者派遣事業」	豊中おはなしの会の協力を得て、日ごろ図書館を利用しにくい子どもたちに出前のおはなし会を行う。 (58、100、135にも掲載しています。)	継続		おはなし会の回数 参加人数	8ヶ所で9回開催、参加人数は984人	19年度は、民間保育園1ヶ所、私立幼稚園2ヶ所、小学校2ヶ所、支援学校1ヶ所(2回開催)、 <b>障害児通園施設2ヶ所</b> でおはなし会を行った。 <b>今年度はじめて、民間保育園でおはなし会を実施した。事業をきっかけとして、実施園への団体貸出や読書相談などの図書館サービスが始まった。また、豊中おはなしの会とともに、次年度からの事業のあり方について討議を重ねた。</b>	市立図書館 豊中おはなしの会
	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	継続		回数 参加人数	40人	昨年に引き続き、19年度も千成小学校PTA総会で市立図書館職員が絵本と読み聞かせについての講座を行った。	市立図書館
84	保護者への取り組み	保護者に対して、子どもの読書の大切さを伝える。	継続				保護者への働きかけとして、児童・生徒向けの図書館だよりなどで、保護者啓発を含め「子どもの読書の大切さ」や学校図書館の活動が伝わるように工夫している。また、学校図書館を活用した授業参観も実施した。保護者も対象とした講演会や保護者による読み聞かせにより読書の大切さを保護者へ伝えている。授業や日頃の図書館サービスを通じて、児童・生徒、教職員を主な対象に活動しているため、保護者への直接的な活動はまだ活発とはいえない。	学校図書館 義務教育課

子どもの本や読書に関する情報提供

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続				地域ボランティアが読み聞かせをおこなっている学校では、情報交換が行われている。	小・中学校 義務教育課
85	情報交流	地域で学校や市立図書館、読み聞かせボランティアが子どもや読書に関する情報を共有し、子どもの読書活動を推進する。	継続		「子どもと本をつなぐ地域交流会」の参加人数	3回実施 151人	豊中市中部、南部、北東部の3ヶ所で実施。中部は18年度に引き続き2回目の実施となったが、南部、北東部については今年度、初めて行った。豊中市子ども読書活動推進連絡協議会のワーキンググループのメンバーが中心となって運営にかかわり、子どもや本にかかわる市民や関係部局、関係機関の職員が「十分に本やおはなしが届いていない子どもたち」をイメージし、話し合うワークショップを行った。学校司書や保健師、保育士のほか、書店主や民生・児童委員の方など、幅広い参加者による討議となり、地域の情報を共有し、課題について話し合う機会となった。	市立図書館
<p>・自分の活動を見直すきっかけになった。・本の話に限らず、色々な子育ての現状についてのお話、活動を知ることができて有意義だった。・他の活動グループの様子や課題がわかって、より近しく感じました。</p>								

読書環境の整備

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
86	図書費の確保	豊かな読書活動と充実した学びを保障するため、全国学校図書館図書費などをふまえ、図書費の確保等、資料整備を進める。	継続		図書購入予算	図書購入予算 小学校 2,712万円、 中学校 1,439万円	財政状況を考慮しながら配当予算の増額を実施した。	教育施設課 企画総務課
87	図書館の改修	学校図書館を学校の中の魅力ある場として、財政状況や校舎の改築・改修の時期等を総合的に考え、整備を進める。	継続				学校図書館の整備については2教室を1教室にする工事が伴い、1校あたり1,500万円～1,900万円程度かかり、さらに耐震補強も必要なため予算の確保は困難と思われるが、財政状況を考慮しながら整備していきたい。	教育施設課
88	蔵書管理システムの研究	学校及び市立図書館の蔵書を効果的に活用するため、関係機関が連携した研究を進める。	継続				導入にかかわる必要経費の資料収集及び近隣市の視察を行った。	義務教育課 市立図書館 教育センター
89	学校図書館資料運搬システムの効果的運用	学校図書館・市立図書館間における資料運搬システムの効果的な運用に向けて研究を進める。	継続				週1回の稼働がより効果的に運用できるよう市立図書館と共に研究を進める。	義務教育課 市立図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
90	学校・市立図書館連絡会	子どもの読書活動と学習活動の充実に向け、学校・市立図書館間で資料活用状況等に関する交流(情報交換や研修)の場を定期的に設ける。 (157にも掲載しています。)	継続		会合・研修回数	10回(8館×1回+1回+1回)	義務教育課を通じて、市立図書館の担当者と担当する地域の小学校・中学校の学校司書と会合を持った。図書館の資料を活用した授業の様子や学校図書館の取り組みなど、学校における子どもの読書に関する情報交換とともに図書館における地域の子どもの読書に関する情報交換を行った。また、毎年年度当初に行っている地域館における学校司書との会合のほか、19年度は、学校図書館連絡会中学部会と市立図書館との初めての会合や、学校図書館連絡会の場で市立図書館職員が講師となった研修も行った。このような機会を増やし、交流をさらに深めていくことができるように検討しつつ、継続していく。	義務教育課 市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
91	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充		生徒の参加人数	9人	中学校での読み聞かせボランティア体験学習を6回実施。本読みの実演、プリントでの説明、市立図書館での本選び、練習、放課後こどもクラブ(3ヶ所)での読み聞かせの実習の指導。担当の先生が毎年変わるので、学校の中での引き継ぎが課題となる。	おはなしボランティアポケット
	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充		講座回数参加人数	3回のべ30人参加	市立図書館と地域教育振興課が共催し、「高校生のためのボランティア講座」をおはなしボランティアポケットの協力を得て実施した。講座2回と保育所での実践を1回。受講者の中には講座終了後も地域の行事や図書館のおはなし会に継続して参加してもらっている。	市立図書館
	中学生・高校生による読み聞かせボランティアへの指導・支援	中学生・高校生による読み聞かせボランティアに絵本の選び方や読み聞かせについての指導を行い、活動場所を提供するなどの支援を行う。 〔17、72、160をご参照ください。〕	拡充				保育実習や職場体験活動、委員会活動の一環として、中学生が近隣の保育所や幼稚園、小学校(放課後こどもクラブも含む)で絵本の読み聞かせを行った。	義務教育課
92	「学校における読み聞かせボランティアのバックアップ講座」	学校で読み聞かせを行っているボランティアに対し、講座を実施するなど継続的な支援を行う。	継続		バックアップ講座の回数参加人数	3回86人	岡町図書館で2回連続講座、庄内図書館で1回講座を実施。実施にあたっては、まず、サービスエリア内の小学校に対して読み聞かせ活動の状況を調査し、講座の担当者が実際の活動を見学に行くなどの準備を行った。当日は、普段、顔を合わせることのない参加者同士がお互いの活動を紹介しあうなど、よい交流の機会ともなった。	市立図書館

No.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	19年度実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
93	管理職研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」を周知し、教育課程上における学校図書館活用の必要性・有効性に関して研修を行う。	継続				読書活動推進計画を周知し、管理職研修他において、学校図書館の活用のあり方等についての研修を行った。	義務教育課
94	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 [162をご参照ください。]	拡充				20年度は実施予定。	市立図書館
	教職員への啓発・研修	「豊中市子ども読書活動推進計画」の内容について教職員に周知する。また、夏休みを利用して、教職員向けに図書館見学や図書館・図書館資料の効果的な活用等の研修を行う。 [162をご参照ください。]	拡充				夏休みに限定したものではないが、取り組み 95で取り上げられているような教職員対象の研修を行っている。また、各校において学校図書館の活用に関する研修も行われている。	義務教育課
95	学校図書館教育担当者(司書教諭)研修	学習指導方法の工夫改善と学校図書館の効果的な活用に関する研修を行い、相互交流・情報交換の場を持つ。	継続				年3回、研修会を開催し、講演会や実践交流会を行った。	義務教育課
96	学校司書研修	学校教育における効果的な読書並びに学習活動への支援に関する研修を行う。	継続				学校図書館担当者(司書教諭)の研修に加え、学校司書の連絡会を実施し、小中部会ごとに各校の取り組みの交流等を行った。また、市立図書館や教育委員会、学校現場から講師を招き研修会も行った。	義務教育課